第５学年１組　学級活動（１）学習指導案

北九州市立小石小学校

１　議題　「『私たちにできること』を　小石小学校のみんなに　提案しよう」

２　議題について

（１） 児童・生徒の実態

本学級の児童（男子８名、女子９名、計１７名）は、元気で温かく何事にも前向きに取り組むことができる。年度当初に決めた学級目標「カラー　～認め合おう、一人一人の個性～」を意識し、日々の学習や自然教室などの学年行事のたびに、一人ひとりが自分のできることや役割分担に沿って協働的に取り組む姿が見られた。また、委員会活動や学校行事を通して６年生と共に活動する中で、次期最上級生としての自覚も高まっている。

これまでの学級会では、「学級目標を決めよう」「５年１組のキャラクターを決めよう」「給食時間の取組を決めよう」などを議題として、話合いを行ってきた。計画委員会を中心とした準備の仕方や役割分担、学級会の基本的な進め方は定着しており、現在の自分たちの課題に合わせて話合いのめあてを設定することができる。「出し合う」「分かり合う」の段階では自分の考えに理由を添えて発言することができる児童も多い。しかし、「まとめる」の段階へと話合いが進むにつれて特定の児童ばかりが発言してしまうことが目立つ。また、自分の考えに固執してしまい、折り合いをつけることができずに、話合いの時間が足りなくなってしまうことが課題である。これらの課題を解決するために、話合いをまとめる方法を確認したり、必要に応じて担任がフロアの一員として意見を述べたりして、折り合いをつけて話合いをまとめるよさを感じられるように、継続的に指導を行っている。

（２） 議題選定の理由

本学級の児童は、社会科や国語科の学習において、「私たちのよりよい生活のために」と強い思いをもって各分野で工夫や努力を重ねてきた人々の姿を学んだ。それをふまえて総合的な学習の時間では SDGs の視点から、今の自分たちにできることを考えた。本議題は、「学習の中で考案した『今の私たちにできること』を小石小学校のみんなに伝えたい」という児童の思いが高まったことを受けて、計画委員で話し合い、議題として選定された。

この話合いは、「小石小学校で過ごす一人一人が、より豊かで明るい生活をつくれるように意識して生活してほしい」という相手意識・目的意識のうえで成り立つ。「自らの学びがみんなの楽しく豊かな学校生活づくりにつながる」ということに価値を見出し、自己有用感が高まることも期待できる。また、決まったことを協力して実践する楽しさを十分に味わうことのできる、意義ある活動になると考える。

３　目標

知識及び技能	○　みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解することができる。

	○　合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けることができる。
思考力、判断力、表現力等	○　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践することができる。
学びに向かう力、人間性等	○　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとする。

4　評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○　みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 ○　合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5　事前の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準 （評価方法）
11月14日 （総合）	○　プロジェクト名の候補としてどんな言葉があるか、アンケート結果を提示する。	○　一人ひとりの思いを確かめられるように、GIGA端末を使って確認する。	【主】みんなで決めるために、自分の意見を出そうとしている。（行動観察）
11月14日 （昼休み）	1　議題を選定し、決定する。（全員、計画委員会）	○　真剣に話し合うことができるように、児童の思いに即して考え、決定する。	【主】計画委員会の役割を理解し、積極的に取り組もうとしている。（行動観察）
11月15日 （小石タイム）	2　提案理由をもとに、柱・話合いのめあてを決めて、学級に知らせる。（計画委員会） 3　議題、提案理由、柱、めあてを確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。（全員）	○　全員で話し合って決定できるよう、これまでの学級会における課題を意識させながら、柱や話合いのめあてを考えるよう助言する。 ○　自分の意見をもって話合いに参加できるように、決まっていることを確認し、提案理由やめあてを意識して考えるように助言する。	【知】提案理由に沿って、全員で話し合う内容と、話合いのめあてを決定している。（発言内容・行動観察） 【思】提案理由や決まっていることに沿って、考えを学級会ノートに書いている。（ノート分析）

11月18日 （昼休み）	4　学級会ノートに書かれた意見を整理し、役割分担をして話合いの準備や練習をする。(計画委員会)	○　司会や黒板書記、計時記録の仕事が理解できるように、「学級会の進め方シート」で役割と学級会の流れを確認する。 ○　フロアの児童が意見を述べやすくするために、全員の学級会ノートを確認し、必要に応じて意見の仲間分けをしたり、内容を全員に伝えたりしておく。(GIGA端末活用)	【知】自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をしている。 （発言内容・行動観察）
11月19日 （昼休み）	5　掲示物等の準備を行い、学級会のリハーサルをする。（計画委員会）	○　めあてに沿った話合いができるように、これまでの学級会の記録や改善点を参考にリハーサルを行う。 ○　全員が話合いに自信をもって取り組めるように、めあてを確かめ、意欲を高める声かけを行う。	
11月20日	7　準備を行う。 （計画委員会）	○　掲示物の準備がスムーズにできるように、計画委員会で確かめる。	

6　本時の学習

（1）日時　令和６年１１月２０日（水）５校時　於　５年１組教室

（2）主眼

「私たちにできること」を提案するプロジェクト名や提案内容について話し合う活動を通して、出された意見の背景にある考え方を受け入れながら、組み合わせたり新たな考えを生み出したりして、よりよい提案内容を話し合って決めることができるようにする。

（3）見方・考え方を働かせている児童・生徒の姿

・提案理由や話合いのめあてに着目し、それに沿って意見を考え述べる姿

・出された意見の一つ一つを大切に受け止め、組み合わせたり新たな考えを生み出したりして折り合いをつけながら合意形成をしようとしている姿

（4）準備

教師：黒板用掲示プレート（議題、提案理由、柱１など）GIGA端末、ホワイトボード
総合的な学習の時間に行った発表内容の掲示

児童：学級会ノート、学級会の進め方シート、学級会グッズ

（5）展開

第８回学級会　活動計画	
議　題	「私たちにできること」を　小石小学校のみんなに　提案しよう
役　割	司　　会（　）（　）　黒板記録（　）（　） ノート記録・計時（　）　提 案 者（　）
提案理由	総合的な学習の時間に、自分たちの生活をよりよくするための取り組みについて、自分たちにできることを考えた。小石小学校のみんなにも知って取り組んでほしいと思ったから、提案した。

めあて	○　１年生から６年生まで全員がSDGsのことを理解して一緒に取り組みたいと思えるようなプロジェクトになるように、おたがいの意見のよさを生かして、折り合いをつけて話し合おう。
決まっていること	プロジェクト名：「○○プロジェクト」の型でプロジェクト名を決める。 提案相手：小石小学校の１年生から６年生　　提案日時：１２月上旬の給食時間 提案する方法：解説劇（ビデオ）とポスター。（ポスターの内容は、既に決定済） 解説劇(10分)の内容：①SDGsとは　**②私たちにできること**　③ポスターの告知

学習活動	○　指導上の留意点　　【観点】評価規準（評価方法）
１　はじめの言葉	○　議題、提案理由、話合いのめあて、柱１と２の内容が分かるように、事前に模造紙や短冊に書いて黒板に掲示しておく。
２　司会グループの紹介	○　自分の役割に対してめあてをもって取り組めるように、自分の役割と頑張ることを発表する。
３　議題と提案理由、話合いのめあての確認	○　自身で感じた小石小学校の課題から、解説劇の中で「特に提案したいこと」を決めるという相手意識・目的意識をもって話し合うことができるように、議題と提案理由、話合いのめあてを確認し、学級全体で話し合うことへの意欲を高める。
４　決まっていることの確認	○　全員が同じイメージをもって話し合えるように、決まっていることを確認する。特に、既に柱２で話し合うことを決めている「提案したいこと」について確認する。

【決まっていること】　提案する対象:小石小学校の1年生から6年生全員
柱1…「○○プロジェクト」の型にはめ込む。
柱2…解説劇中で中心として扱う「私たちにできること」を決める。(10分以内)

５　話合い 柱１ 「提案するプロジェクト名を決めよう」	○　意見が出ない場合や発表者が固定化されてきた場合は、タイムを取り、小グループでの話合いの時間を取り入れたり、司会から意見を促す助言を行ったりする。 ○　出された意見のよさを理解して話合いを進められるように、分類・整理するよう黒板記録に助言する。 ○　分かり合う・まとめるの段階では、出された意見が分かるように、賛成・反対マークや短冊黒板などを利用する。
柱２ 「提案する内容を決めよう」	【思】出された意見の背景にある考え方を理解し受け入れながら、それぞれの意見のよさを生かし、組み合わせたり新たな考えを生み出したりする意見を出して合意形成を図っている。（発言内容・行動観察）
６　決まったことの確認	○　全員が決まったことを確認できるように、ノート記録の児童が発表する。
７　振り返り	○　全員が本学級会における「よかったところ」や「前回からの自分の変容」、「これからの課題」などを見付けて書くことができるように、振り返りの視点を明確にする。〈GIGA端末活用〉
８　先生の話	○　今後の活動への意欲を高めることができるように、提案理由やめあてを意識した発言、学級会の進行や合意形成に貢献した児童（計画委員会、全員）について称賛する。

（６）評価の様相

区　分	様　　相
十分満足できる状況	出された意見の背景にある考え方を理解し受け入れながら、それぞれの意見のよさを生かし、組み合わせたり新たな考えを生み出したりする意見を出して合意形成を図ろうとしている。
おおむね満足できる状況	教師の支援や司会からの助言を受けて、出された意見の背景にある考え方を理解し受け入れながら、それぞれの意見のよさを生かし、組み合わせたり新たな考えを生み出したりする意見を出して合意形成を図っている。

7　事後の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
11月下旬	1　役割分担をして、決まった内容で提案準備を行う。（全員）	○　全員が意欲をもって取り組めるように、声かけを行う。	【主】合意形成したことを基に、自分の役割を意識しながら友達と協力して活動に取り組んでいる。（行動観察・成果物分析）
12月上旬	2　提案を行う。（全員）	○　本活動の価値を見出し自己有用感を高め、それを協力して実践する楽しさを十分に味わうことができるよう、声かけを行う。	【知】友達と協力して実践している。（行動観察）
12月中旬	3　振り返りをする。（全員）	○　実践を振り返り、満足感や達成感を感じたり、新たな目標や課題を見付けたりできるように、振り返りを学級全体で共有する。 ○　活動を通して自分の成長を気付けるように、活動のよさについて称賛し、今後生かしたいことについて話す。	【思】実践したことをもとに、成果や改善点を振り返っている。 【知】合意形成したことをみんなで協力して実践することの良さを理解している。（ワークシート分析）